

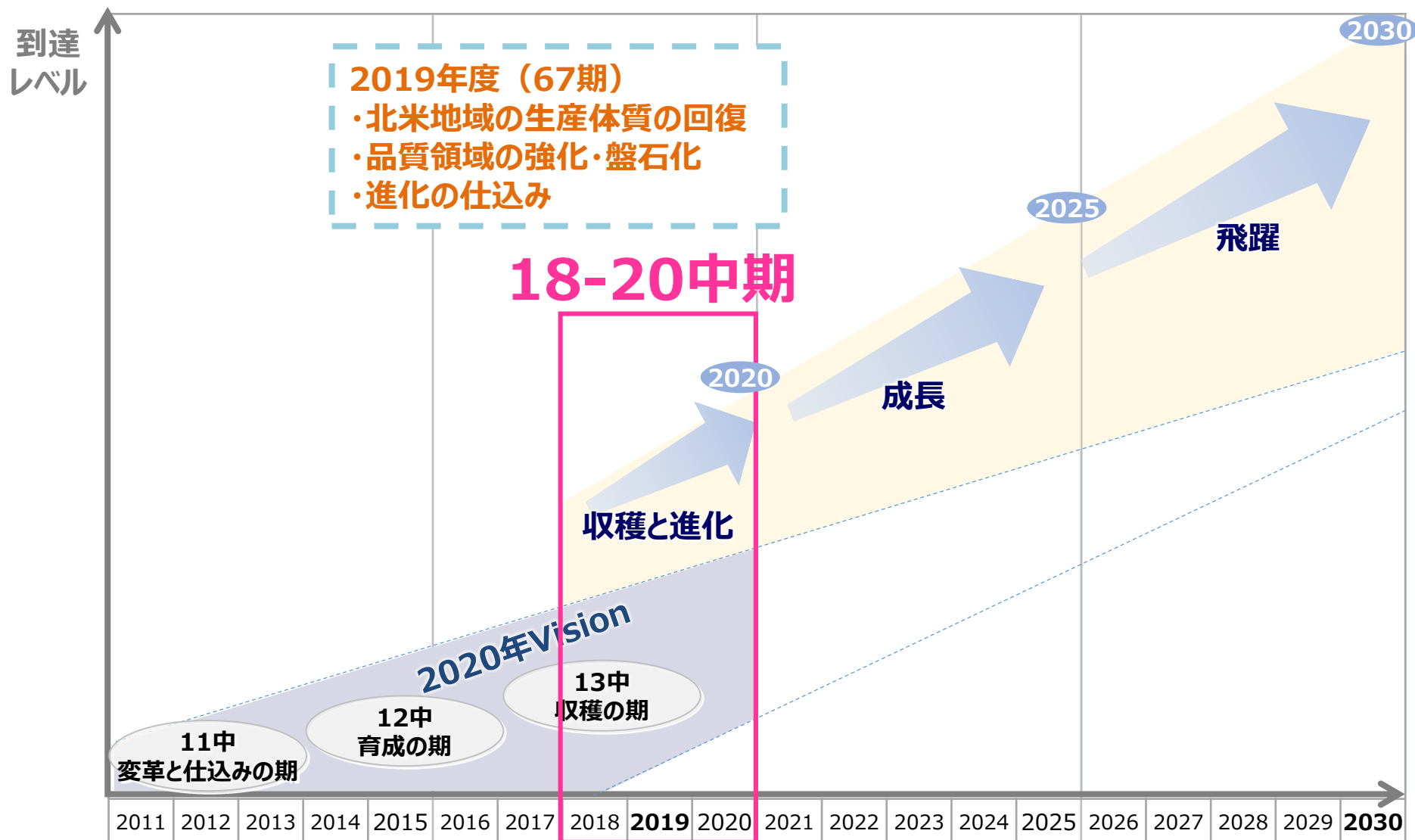
八千代工業株式会社

事業方針説明会

2019年6月25日

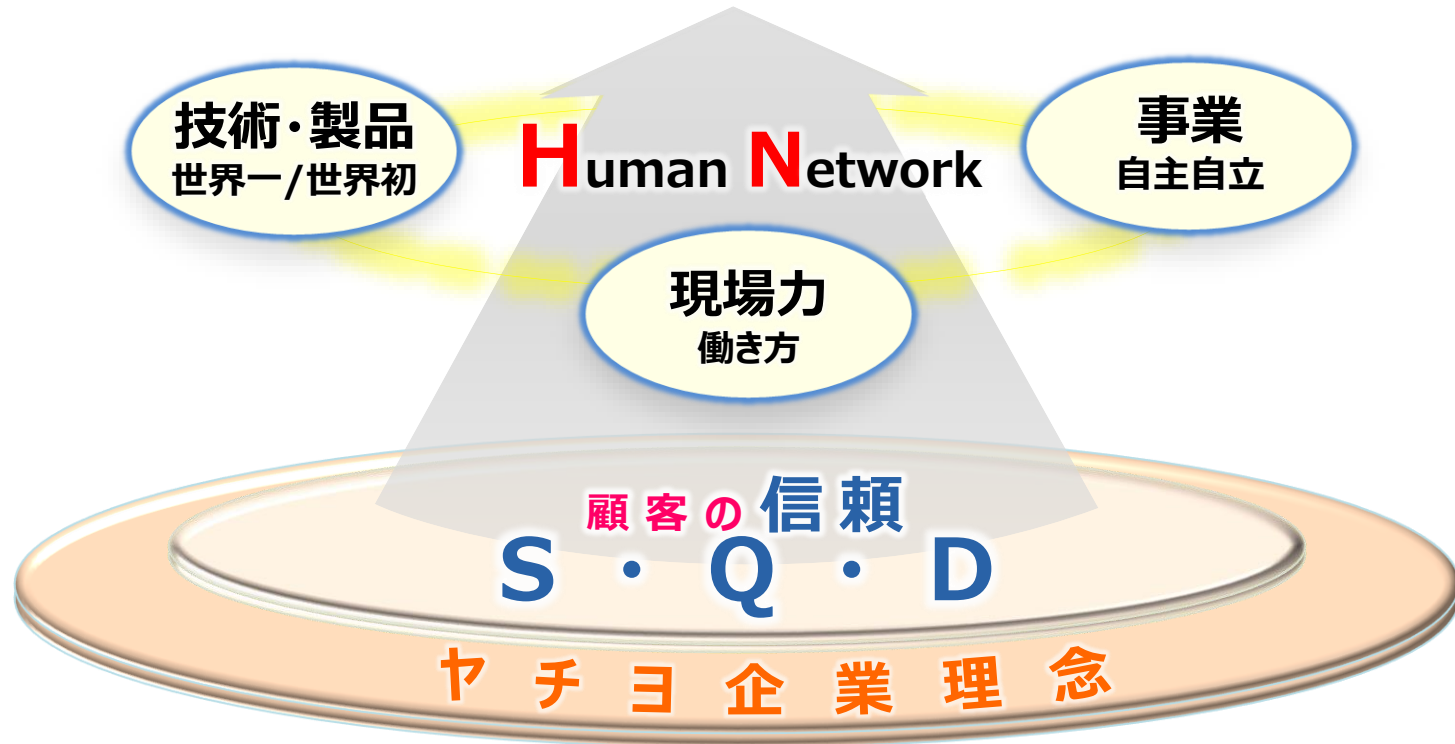
事業の取り組み

18-20中期の位置づけ



18-20中期 …“収穫と進化”を加速させ2020年とその先に繋げる

グローバルでトップの技術・製品の競争力を実現する

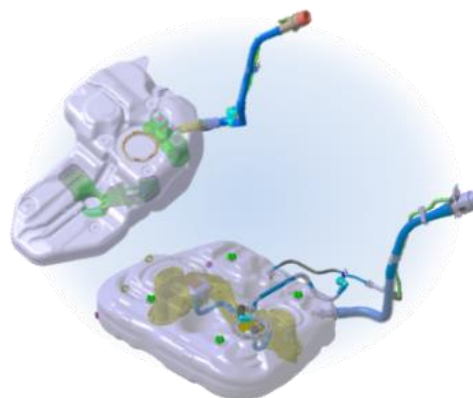
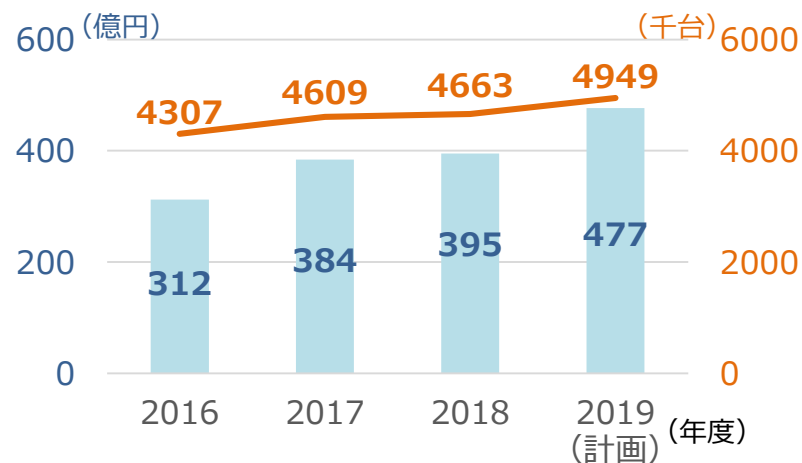


重点施策

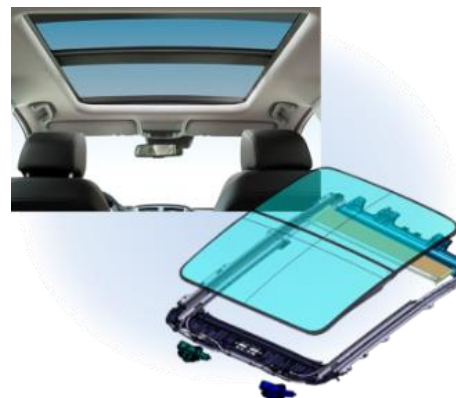
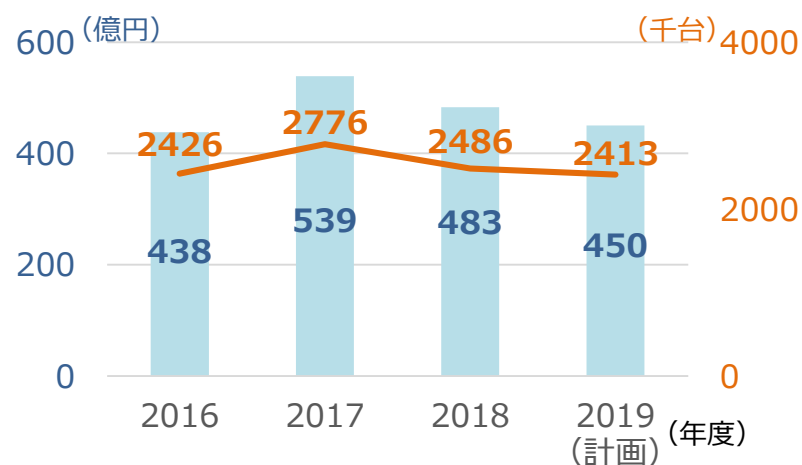
1. ニーズを先読みしたものづくり進化
2. グローバルオペレーションの確立と実行
3. 品質保証体質の飛躍的向上
4. 将来を担う人材の先行育成・最適配置
5. 企業価値向上に向けたサステナビリティ展開

主力製品の収穫

樹脂製燃料タンク売上、生産台数推移



サンルーフ売上、生産台数推移



競争力ある製品をグローバルで供給し事業の盤石化を図る

接続性

Conconnected

自動運転

Autonomous

共有

Sharing

電動化

Electric



次世代自動車の波

サプライヤーとして
期待されること

付加価値向上
(高付加・高機能化等)

機能単位での
システム提案
(OEM開発負担肩代わり)

協業・連携による
価値貢献
(オープンイノベーション等)

異業種・新領域との連携も含め“強いサプライヤー”としての期待が増す

電動化

Electric



電気自動車
EV

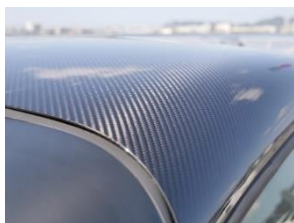
プラグインハイブリッド
PHEV

燃料電池車
FCV

強みを活かした技術・製品の拡大

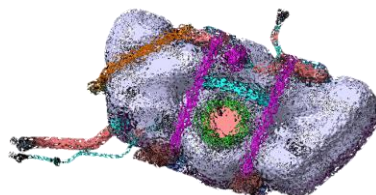
部品の軽量化

樹脂モジュール部品
カーボン製品



高圧密閉タンク

PHEV対応樹脂製
燃料タンク
45kPa



水素用耐圧
軽量タンク
70MPa



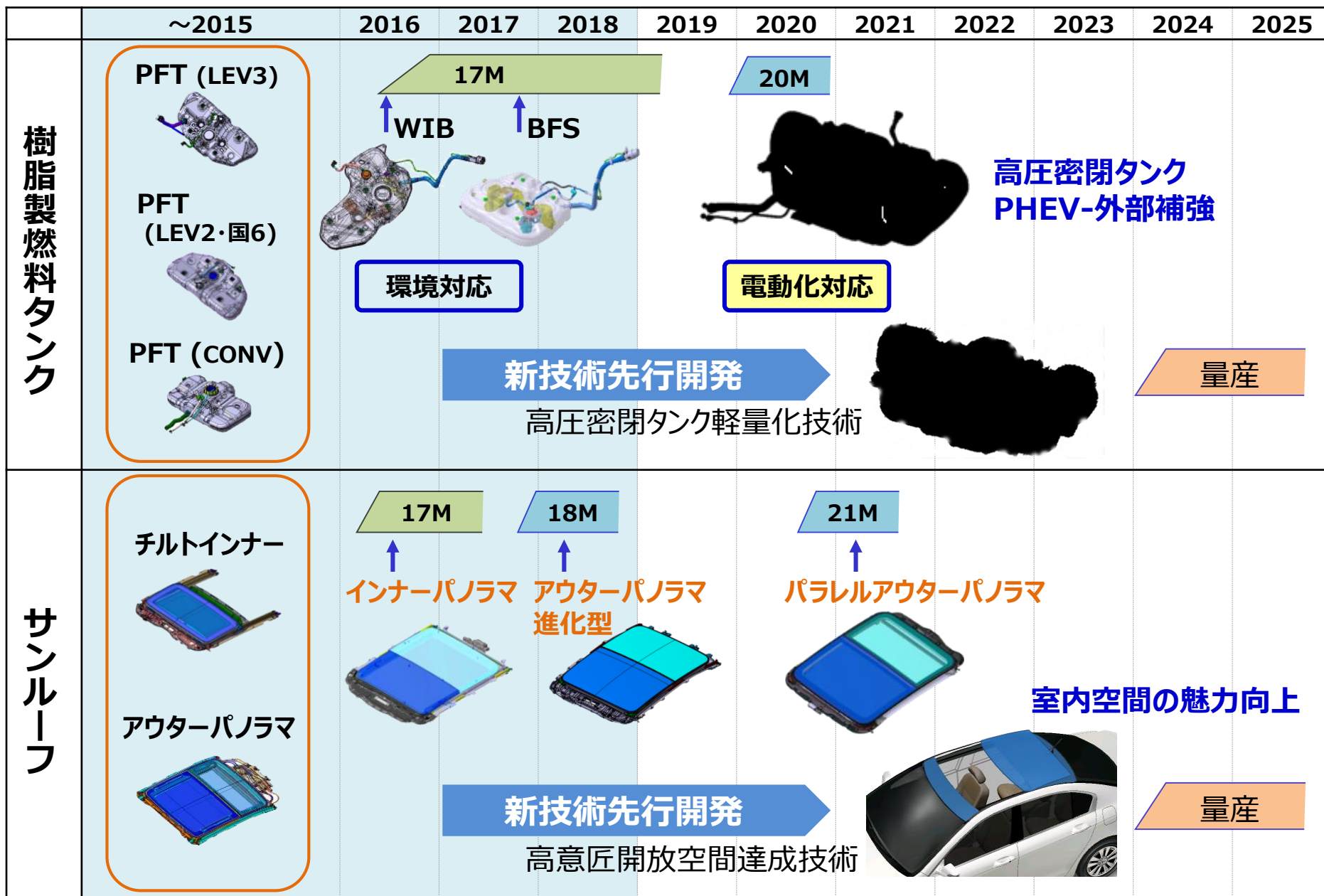
高意匠開放空間

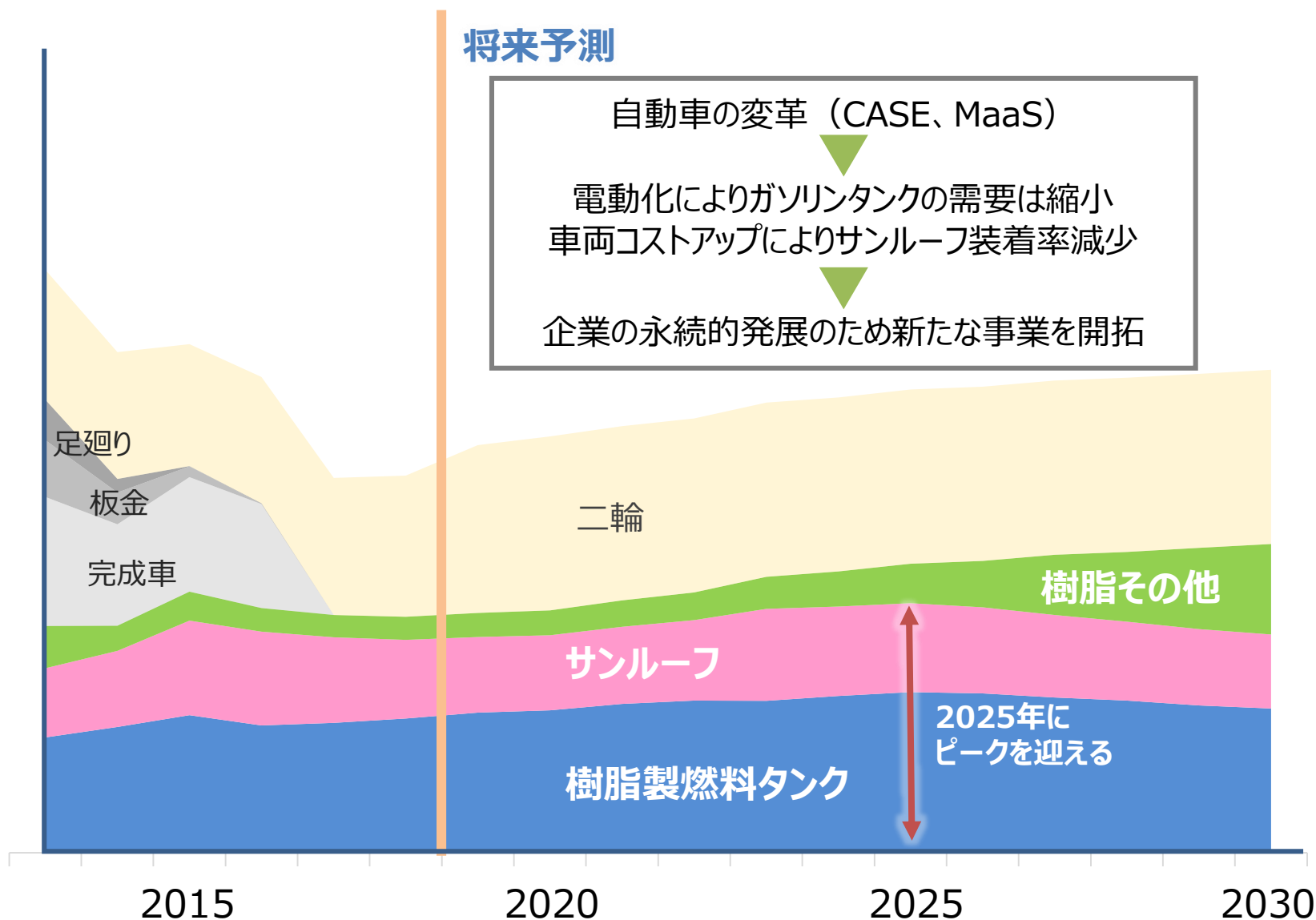
室内空間の魅力を向上
させる大開口サンルーフ



軽量化、エネルギーストレージ、室内の魅力向上で自動車の変革に対応

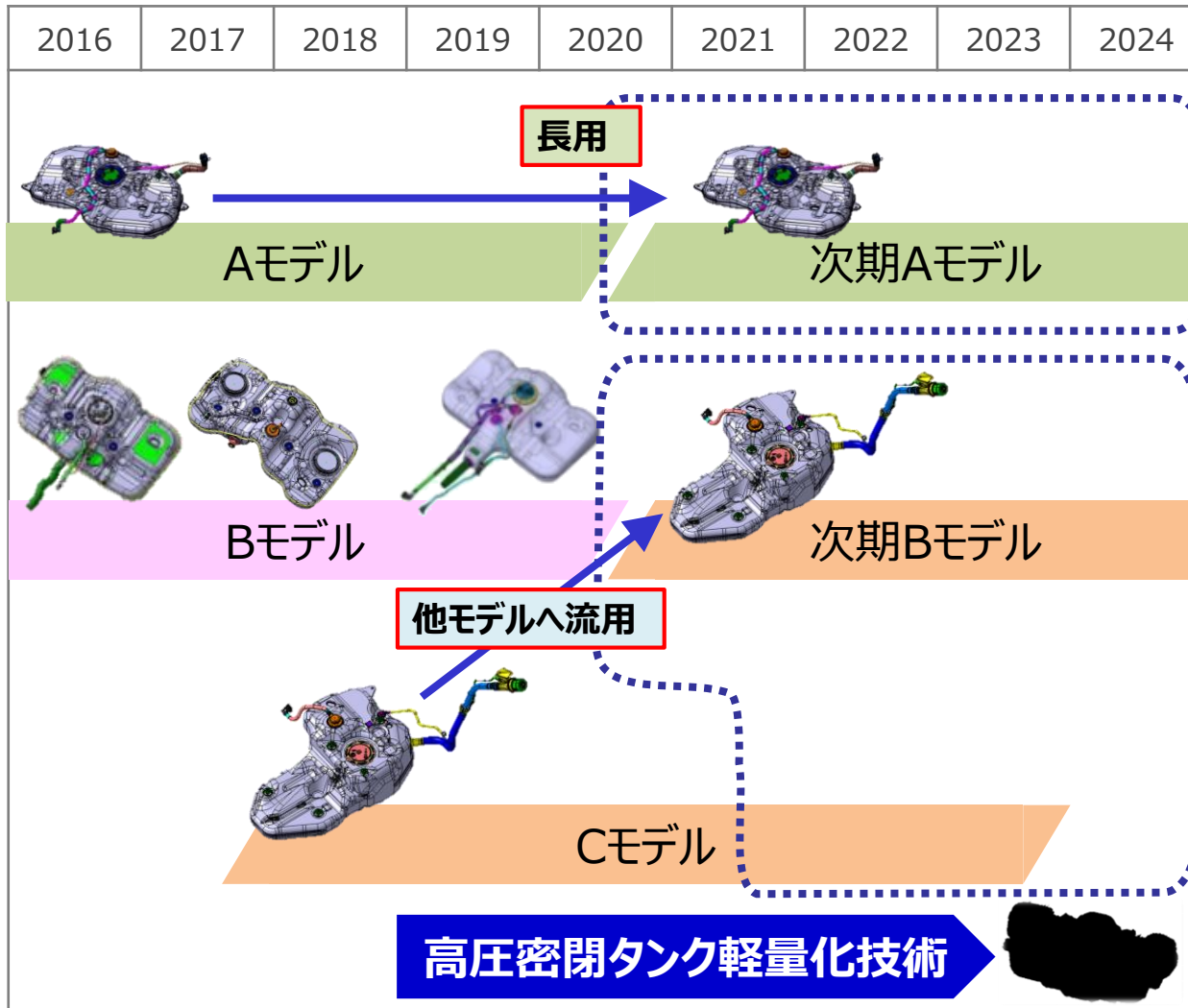
主力製品の進化





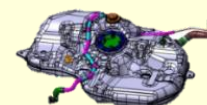
主力製品の需要は2025年頃をピークと仮定し、新たな事業分野を開拓

ものづくり進化（樹脂製燃料タンク）

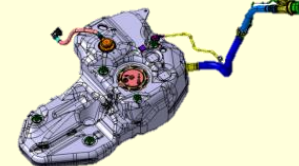


タンクの種類を統合

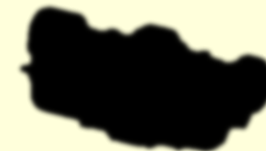
Aモデル系



B、Cモデル系



PHEV系

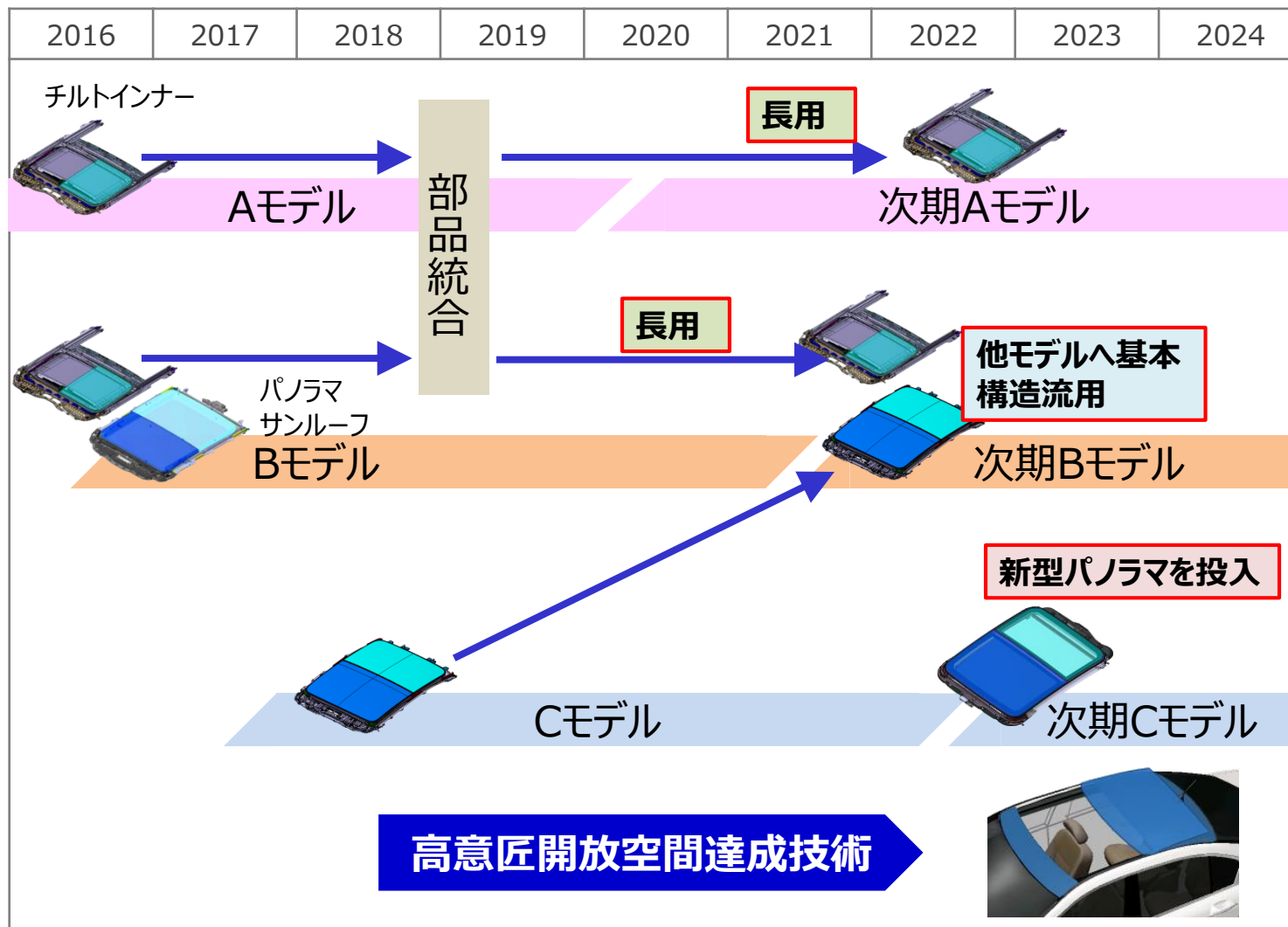


など

30%種類削減

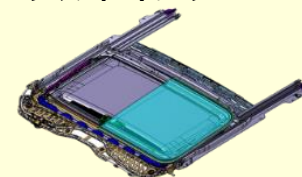
プラットフォームに対応した長用化および高効率な製品開発により
事業性の向上と開発費削減を図る

ものづくり進化（サンルーフ）



サンルーフの種類を統合

チルトインナー



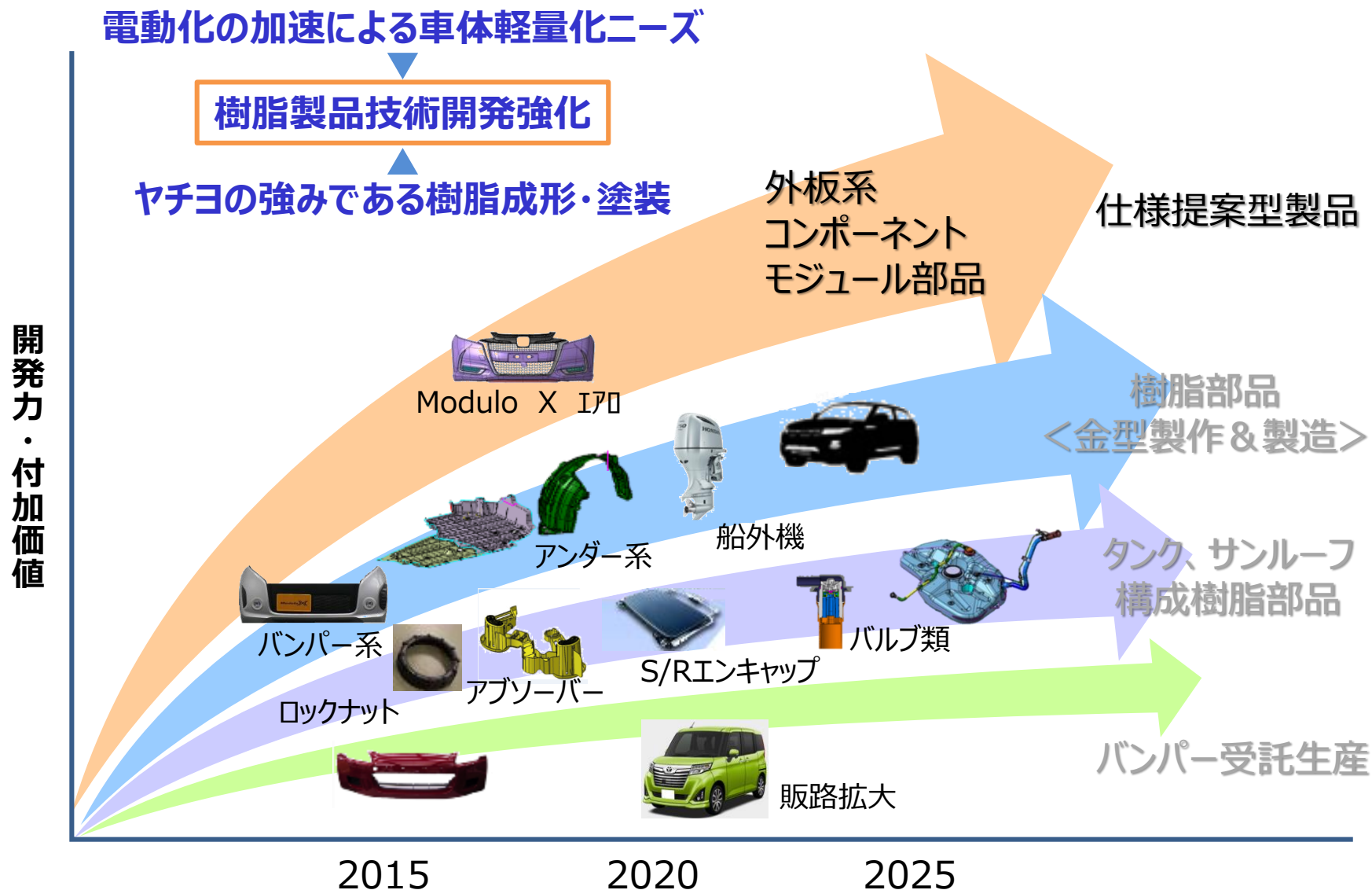
パノラマサンルーフ



50%種類削減

スタンダードサンルーフの長用化とパノラマサンルーフの統合化により
事業性の向上と開発費削減を図る

ものづくり進化（樹脂事業の拡大）



樹脂製燃料タンク、サンルーフに続く第3の事業として樹脂製品を強化

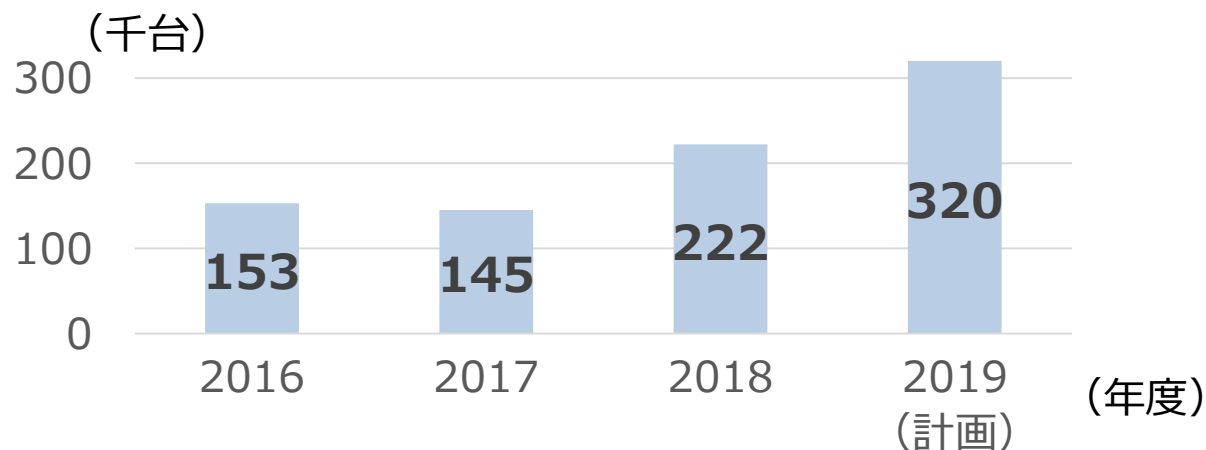
トピックス

ダイハツ工業よりフロントバンパーを受注

車種 ダイハツ トール、トヨタ ルーミー、
 スバル ジャスティー
生産開始 2018年 4 月から
生産数 105,034台（2018年度実績）
生産工場 鈴鹿工場
加工内容 成形および塗装



鈴鹿工場におけるバンパーの生産台数推移



ロビーに展示
しています

グローバルのものづくりを拡大



八千代工業（武漢）有限公司 (中国 : YWM)

東風Hondaの生産能力拡大に併せ、樹脂製燃料
タンク、パノラマサンルーフの生産能力を拡大



サイアム ヤチヨ (タイ : SYC)



二輪車用部品の樹脂成形、塗装の事業拡大



海外拠点の生産能力アップにより、既存事業のさらなる拡大を展開中

車いすレーサー Hondaブランドで販売開始



ヤチヨ
量産製作

Honda

本田技術研究所
要素技術構築

ホンダ太陽
販売窓口



2月にHondaと合同発表



車いすマラソン女子 世界ランク1位
スイスのマニエラ選手



パラトライアスロン女子PTWCクラス 世界ランク3位
ヤチヨ所属の土田和歌子選手

今後もヤチヨが1台1台の製作を担い
世界のパラアスリートの活躍を支えていきます

カーボンルーフの発売を開始

企画から開発、製造、販売のすべてを完結
ヤチヨオリジナル カーボンルーフを発売



高付加で機能単位でのシステムを提案
自動車用外装部品としてカーボン製品を量産化

Honda S660への思い



ヤチヨが生産を手掛けた
Honda S660に対応



当社柏原工場で生産

特長

ルーフを20%軽量化
ボディの高剛性化
広い室内空間の確保
美しい表面仕上げ



当社ホームページにて
6月27日から発売開始

ロビーに展示
しています

2019年度 連結業績見通し

2019年度 連結業績見通し



(億円)

	2018年度	2019年度	前年度比	
売上収益	1,612	1,580	-32	(-2.0%)
営業利益	7	65	+58	(+826.7%)
税引前利益	9	64	+55	(+589.8%)
親会社の所有者に帰属 する当期利益	-43	33	+76	(- %)

※ 1 億円未満は四捨五入して表示しております

為替レート (AR) (USドル)	111円	105円	6円 円高
----------------------	------	------	-------

主な要因

- ・売上収益 受注は増加。為替レートの設定により円換算額は減少
- ・営業利益 原価改善や間接費の削減などに加え、一時費用が大きく発生した2018年度に比べ大幅に増益

	2017年度	2018年度	2019年度	前年度比
中間配当金	16円	8円	(8円)	—
期末配当金	16円	8円	(11円)	3円
年間配当金	32円	16円	(19円)	3円
連結配当性向	16.0%	— %	13.8%	— %

配当は株主様に対する利益還元を最重要課題の一つと位置付け、
長期的な視点に立ち連結業績を考慮しながら安定的に実施

